

静岡県歯科医師会歯周病講習会

日 時 平成16年1月25日(日)
午前10時～午後3時30分(終了予定)
場 所 静岡県歯科医師会館「5F大会議室」

< 日 程 >

10:00 開 会
挨 拶

10:20～11:50 講 演 I. 演 題 「歯周病診療の基本」
講 師 浜松市口腔保健医療センター所長
石 川 昭 先生

11:50～12:00 質疑応答

12:00～13:00 昼食・休憩 ※弁当・お茶は5F第2会議室にて券と引き替えいたします

13:00～14:30 講 演 II. 演 題 「患者さんが受診したくなる歯周治療」
講 師 静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科助教授
吉 田 直 樹 先生

14:30～14:40 質疑応答

14:40～14:50 休 憩

14:50～15:20 講 演 II. 演 題 「歯周病関連の保険請求」
講 師 静岡県歯科医師会理事(社会保険部担当)
鳥 居 建 吾 先生

15:20～15:30 質疑応答

15:30(終了予定) 閉 会

歯周病診療の基本

浜松市保健所健康増進課

口腔保健医療センター

所長 石川 昭

スケーリングなどの歯周病の診療は、日常の診療の中にとけこんでおり、どの診療所においても特にめずらしいものではないと思われます。しかし、診療の中で、歯周病診療だけを取り上げてみると、どれほどウエイトを置いているかは、診療内容によってまちまちです。例えば、むし歯に関する主訴をもった患者が、一連の治療を進める中で、初診日や治療終了時に歯石除去をしても歯周病診療であります。一方、歯周病に関する主訴をもった患者に、歯磨き指導や歯石除去、ルートプレーニング、メンテナンスなどの歯周治療のみを行う場合も歯周病診療です。一般的には、圧倒的に前者の方が多くいわけで、これが歯周病診療を中途半端にしている原因ではないかと思われます。歯周病診療を意味あるものにするには、歯周病を他の歯科疾患の付属と考えないで、歯周病を軸とした診療スタイルに変えていく必要があります。すなわち、歯周病診療の中にむし歯の治療がすでにあるといった診療を多くするという事です。

今回の講習会では、歯周病診療を「ついでの診療」としないために、もう一度基礎からチェックし、明日からの診療に役立ててもらうように考えています。私の講演としては、1 モチベーション、2 診断、3 予防歯科診療、4 メンテナンス、5 症例に分けて話をします。

県歯科医師会で講習会を行う目的は、歯周病診療の流れを日常診療の中に取り入れてもらい、各診療所で実践してもらうためであります。よい医療を実践するには、知識とともに技術がともなわなければなりません。よって、3月には今回の講習会と関連して実習も予定しています。また、日常の診療の中に歯周病診療が定着するためには、歯科衛生士と協力して実践していかなければなりません。歯科衛生士への指導に関しては、本日の講習会を参考にしていただいて先生方自らでお願いします。そうすることにより、先生方の診療所が「歯周病管理型診療所」として機能し、ひいては静岡県民の歯の健康増進につながることを期待します。

参考ビデオ

日本歯科医師会 生涯研修ライブラリー

No.166 臨床予防歯科 ―削らない、抜かない、歯科医療をめざして―

患者さんが受診したくなる歯周治療

静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科

吉田直樹

我が国は、男女とも、世界一の長寿国となった。結果として、今までに、経験をしたことがない高齢社会を迎えつつある。高齢者においては、ひとりひとりの Quality of Life (QOL)を向上させることが望まれている。

QOLの向上には、様々な事が関係している。中でも、口腔の機能（摂食、嚥下、発語等を含む）を良好に保つことは最も重要なもののひとつであり、我々の貢献が大きく期待されている。

歯周治療の目的は、歯を支持している歯周組織を、良好な状態に管理し、健全な歯列を保つことである。高齢者においても健全な歯列を保つということは、結果として、良好な口腔の機能を保つことに繋がる。更には、QOLの向上にまで、関係していくと考えられる。

近年の歯周治療の著しい進歩によって、ひと昔前までは保存不可能と思われた歯周病罹患歯が保存可能になってきている。重度の歯周病が治療可能になってきたことにより、歯を失わずに済むということは、患者にとって、朗報である。

一方、それと同様に、あるいはそれ以上に重要なことは、歯周病に罹患しないようにすること。および、罹患してしまった歯周病を重症化させないようにすることである。

歯周病の特徴を分かりやすく説明しているものとして、3つのSの病気という言い方がなされている。

- I. Social disease : 多くの人々（成人の8割以上）が罹患している疾患
 - II. Silent disease : 静かに（自覚症状が少ないまま）進行する疾患
 - III. Self controllable disease : 自分自身で改善できる疾患
- の3つである。

近年、これらの特徴を知っている市民が、増えて来ているように思える。しかし、残念ながら、十分に理解して、自分自身の問題として捉えている者は、まだまだ、多くはないようである。

この講演では、IとIIに関わる患者。すなわち、「自覚症状が少ないために、歯周病を進行させてしまう恐れのある、多くの歯周病患者の人々」を、我々がどのように指導していったら良いのかを考える。

静岡県歯科医師会 歯周病実技研修会 日程

※ユニットを使用し、スケーリング・ルートプレーニングの実技を行います

日 時	平成16年3月14日(日) 13:00~17:00	※13:00開始です
場 所	静岡県立大学短期大学部 教育棟2F「臨床基礎実習室」	
講 師	浜松市口腔保健医療センター所長 石川 昭 先生 静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科助教授 吉田直樹 先生	
対 象 者	歯科医師(歯科衛生士は見学・補助)	
参 加 者	19名+成人部員(3人1組)	
持 ち 物	別紙参照	
会場地図	別紙参照 ※お車でのお越しはご遠慮下さい。	

日 程	12:30~	受付
	13:00~	開会
	13:00~13:30	実技研修会の説明
	13:30~14:20	1人目実習開始 (交代)
	14:25~15:15	2人目実習開始 (交代)
	15:20~16:10	3人目実習開始
	16:15~16:30	シャープニング、質疑応答、まとめ
	16:30~17:00	片付け、終了
	17:00	閉会

ごあいさつ



大仁町は、平成15年3月に大仁町保健福祉計画「城山もほほえむいきいきライフプラン」を策定しました。その重点事業の一つとして住民の主体的参加のもとで歯科保健事業、特に歯周病対策を円滑に推進することを通して、健康で心豊かなまちづくりに寄与することを目的に、住民代表の方や8020達成者、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会、町内企業の健康管理担当者で構成する「大仁町歯周病対策プロジェクト会議」を昨年の暮れに設置しました。

子どもから高齢者まで全ての世代を対象に歯の健康増進を目指すものであり、住民の皆様一人ひとりが、生活習慣を見直す必要があると思います。健康のためには、自分の歯をいかに守っていくかが重要なことでもあります。現に私は、毎食後に歯磨きをするよう習慣づけしております。

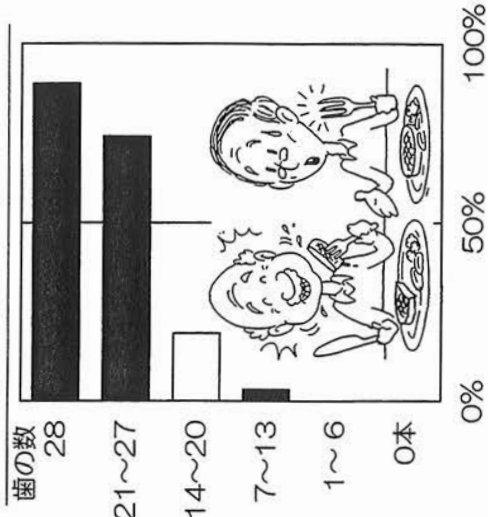
町民の皆様におかれましては、生涯自分の歯でおいしく食事ができるよう健康への深い認識と努力をお願い申し上げます。

大仁町長 望月良和

Q なぜ歯が20本以上、必要なのでしょうか？

A 右の図は県外のある町での調査結果です。成人372人を歯の数によって6群に分けて縦軸にとりました。横軸は「ビーフステーキ、とり貝、酢だこ、なまこ、くらげの酢の物、らっきょう、貝柱の干物、おこし、するめいか、フランスパン」という噛みにくい物を食べられる人の割合です。歯が21本以上あれば、大半の人はビーフステーキなどをおいしく食べられることが分かります。このような調査結果から、だいたい20本の歯があればどんな食べ物でも支障なく食べられることが分かります。

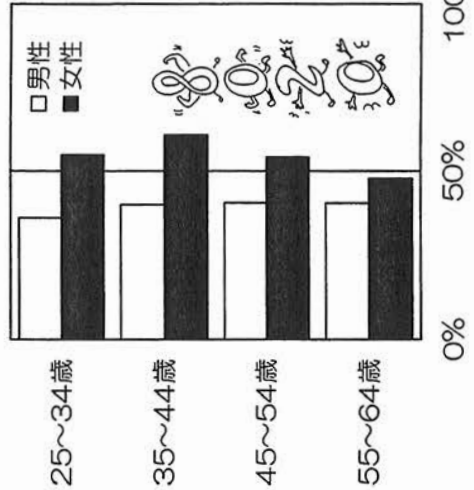
(1989年、矢野正敏氏の報告より)



Q 8020(ハチマル・ニイマル)運動とは何ですか？

A 8020運動とは「80歳になっても、自分の歯を20本以上もって、自分の歯で何でもいいく食べよう」という運動です。自分の歯が20本あれば何でも食べられるという事実と、ムシ歯や歯周病を積極的に予防することで8020は達成可能であるという考えに基づいています。平成9年に25~64歳の県民13,622名を調査したところ、「8020運動という言葉聞いたことがある」人の割合は47%でした(右の図)。男性よりも女性の方がよくご存知でした。

(1998年、静岡県成人歯科調査報告書より)

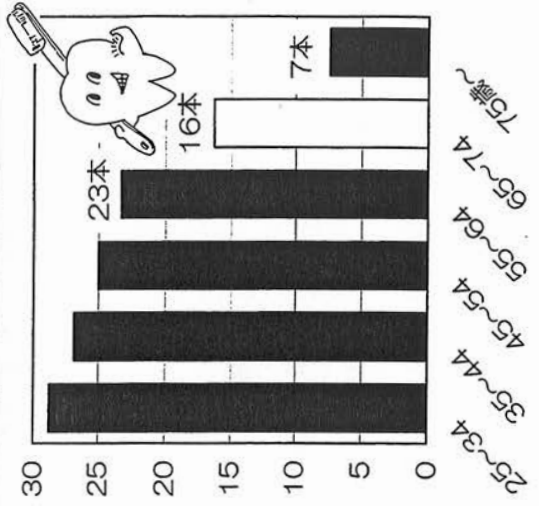


「8020運動」という言葉を聞いたことがある」と回答した人の割合

Q 現在、一人平均何本の歯があるのですか？

A 右の図は、1997・1998年に大仁町の25歳以上の成人373人を調査したときの結果です。55~64歳の人には一人平均23本の歯がありましたが、65~74歳の人には16本、75歳以上の人には7本しか歯がありませんでした。高齢者の食べる楽しみを確保するためにも、若いうちから歯を長持ちさせる努力が必要です。

(1998年、静岡県成人歯科調査報告書より)



Q 8020を達成している人はいるのですか？

A 大仁町の75歳以上の後期高齢者846名のうち118名(14%)の方が20本以上の歯をお持ちでした(下の図)。右の写真は、20本以上の歯をお持ちの80歳の方です。

(2000年、大仁町調査より)

14%

8020達成者

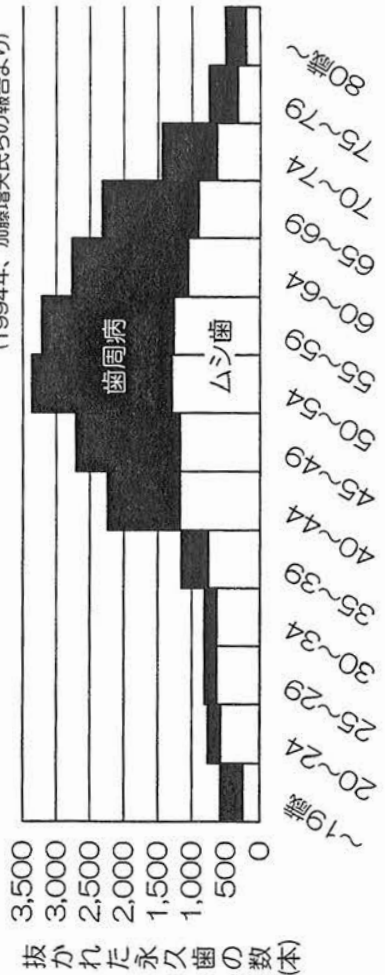
8020非達成者



Q 永久歯が抜かれるのはどんな理由からですか？

A 下の図は、1990・1991年度に神奈川県内の795名の歯科医師の協力のもとに、永久歯がどんな理由で抜かれたかを調べた結果です。横軸は患者さんの年齢、縦軸は調査期間中に抜かれた永久歯の数を示します。△シ歯による抜歯は全年齢層の人に見られ、歯周病による抜歯は40歳以上の人に多いことが分かります。

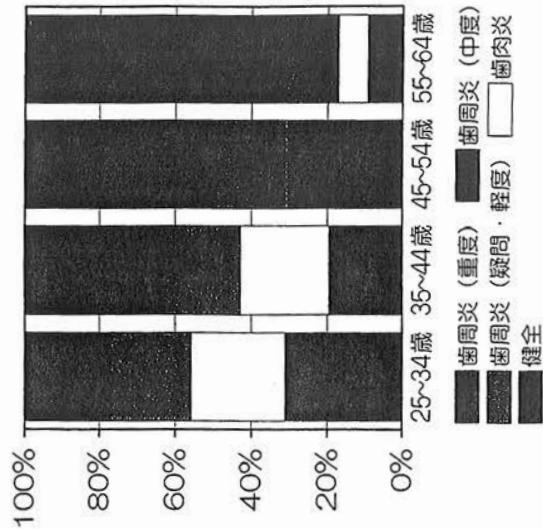
(1994年、加藤博夫氏らの報告より)



Q 歯周病にかかるのは40歳ごろからですか？

A いいえ、そんなことはありません。右の図は、1997・1998年に大仁町の25~64歳の251人を診査した結果です。25~34歳の人の69%が歯周病にかかっていました。なお、歯周病の内訳として、歯肉炎は歯ぐきがはれて出血する状態、歯周炎(疑問・軽度)は歯周炎が疑われたり歯と歯ぐきにすきま(ポケット)ができていたりする状態、歯周炎(中度)は歯ぐきが下がってくる状態で、歯周炎(重度)は歯が抜ける状態のことです。

(1998年、静岡県成人歯科調査報告書より)



今までの歯科治療は、行政、歯科医師がむし歯、歯周病の予防方法を作成し、住民はそれを受けるのみという一方的なものでした。

また、ここではブラーク、歯石が多いから取ればよいという局所的な問題解決に焦点が当てられ、歯周病が生活習慣病である事はあまり言われてきませんでした。健康管理を押しつけられるようで、なじめない住民の方もいらしたかと思えます。しかし、心のあり方によるストレス、食生活による栄養状態、タバコなど、実は歯周病と密接に関係しております。

また、ストレスから自律神経のバランスが崩れると、それがホルモンや免疫にも影響を及ぼし、色々な病気へとつながる事がわかってきました。

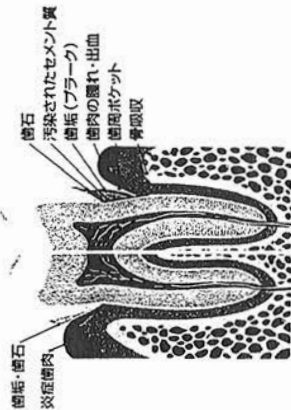
更に近年では、歯周病と免疫との関係も研究されております。この様に個人の日常生活と深く関係を持つ病気を行政、歯科医師だけで解決する事はできません。本当に必要なのは「自分の歯は自分で守る」というセルフケアです。そこで、従来とはことなり問題提起から解決へのプロセスまで、住民が主体的に行い、歯科医師、行政は住民へのサポートにまわる新しい未来型の歯周病対策プロジェクトを大仁町に設置しました。この新たな想像に向けて皆さん積極的に参加して下さい。

鈴木秀夫 (田方郡大仁町開業)

Q 歯周病になるとどんな症状が現れるのですか？

A 歯と歯の間や歯と歯ぐきの境目に食べかすがついたり赤くなったり（右下の写真）歯みがきしたときに出血しやすくなったりします。この状態を歯肉炎（しにくえん）と言います。しかし、この段階ではあまり痛みを感じません。

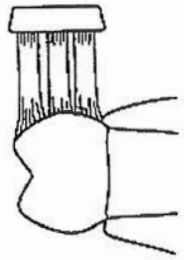
歯みがき不足のまま歯科医院を受診せずには何年もたつと、やがて歯ぐきに膿がたまったり、次第に歯のまわりの骨がとけて歯がグラグラしてきます。この状態を歯周炎（しゅうえん）と言います。



Q 歯ぐきが赤いのですが、どうすれば良いですか？

A 歯と歯の間や歯ぐきの境目にプラーク「細菌のかたままり」がついていませんか？ 次の様なことを基本としてプラークを除去して下さい。

- ①毛先を歯と歯ぐきの境目に当てる。
 - ②毛先を磨くところに当てる感覚で軽い力で磨く。
 - ③一本ずつ磨くつもりで磨く。
 - ④歯間ブラシ、糸ようじ等も使って、歯と歯の間も丁寧に磨く。
- 早そして、できれば歯科医院に行つて診査してもらい、歯みがきの指導を受けて下さい。



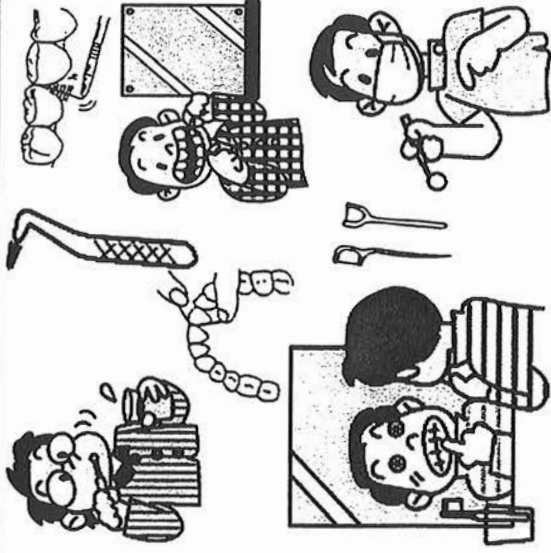
Q 歯周病予防にはどんなことをすれば良いですか？

A 予防の基本は三つです。

(1)毎食後、歯みがき：歯ブラシ・歯間ブラシ・糸ようじ・デンタルフロスを使って、歯と歯の間や歯と歯ぐきの境目についているプラークを丁寧に取り除きます。

(2)毎週、歯ぐきの観察：鏡で、歯ぐきが赤くならないか腫れていないかを観察します。

(3)毎年、歯科受診：歯ぐきを診てもらい、歯みがきの練習をして、歯石やプラークを取り除いてもらいます。



「ねえ保健師さん、うちの主人は何年も歯医者さんにかかったことがなかったんだけど、「なんか歯がぐらぐらする。」と言って受診したら、重度の歯周病だって言われました。」と暗い顔で話してくれた方がいらっしゃいます。「歯周病ってそんなに早く進むのですか？ 痛くも何んとも無いのに抜けちゃうなんて！」とシヨックを隠せませんでした。ご夫婦とも60歳を少し過ぎて、健康には人一倍気をつけていました。「高脂血症」や「糖尿病」を予防するために、バランスのよい食事やウォーキングで体を動かすことを目標にがんばってました。しかし、「歯周病」については、ご主人の歯が抜けてはじめて大変なことになったと感じたようです。「歯周病」という言葉はテレビなどでもよく聞くようになって、ましてや「歯」が抜けてしまうと、思ってもいない方が多いと思います。気がつかないうちに少しずつ忍び寄る怖い病気です。手遅れにならないうちに【おおひと8020ニュース】を読んで、いつまでも健康でいられるための口腔ケアについて学んでいただきたいと思います。

平成15年2月

各 位

ハチマルニイマル
8020健康静岡21推進会議

平成15年 歯科保健県民調査へのご協力をお願い

このたび8020健康静岡21推進会議は、県民の歯科保健を向上するために、県民調査を実施させていただくことになりました。お忙しい処お手数をお掛けいたしますが、8020推進員がお持ちする調査票にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

つきましては、15歳以上のご家族お一人につき一枚ずつ調査票に無記名でご回答下さい。調査結果につきましては、集計が済み次第、何らかの形でご報告します。調査に関するご質問は、8020健康静岡21推進会議（事務局：静岡県歯科医師会（電話054-283-2591））までお問い合わせ下さい。

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

以 上

平成15年 歯科保健県民調査票

15歳以上の方は全員ご回答ください。お一人につき一部ずつご記入をお願いします。質問に対して、あてはまる項目に○をつけるとともに、空欄の部分に記入してください。

問1 市町村名をお書き下さい。 () 市・町・村)

問2 年齢をお知らせ下さい。 () 歳

問3 性別をお知らせ下さい。 ①男性 ②女性

お口の健康状態（鏡でお口の中をご覧になりながらお答えください）
ならびに、お口の健康に関すること

問4 ご自身の歯は何本ありますか。さし歯や冠のように、ご自身の歯の根が残っている場合はご自身の歯として数えます。
() 本

問5 歯や口の中に、悩みや気になることがありますか。
①ある ②ない {→問6へ}

↓

問5-1 歯や口の中の悩みや気になることは、どんなことでしょうか。
(複数回答可)

- ①歯が痛んだり、しみたりする
- ②歯がぐらつく
- ③歯ぐきから血が出たり、はれたりする
- ④ものがはさまる
- ⑤口臭がある
- ⑥粘るような不快感がある
- ⑦歯ならびが気になる
- ⑧かみあわせがよくない
- ⑨口をあけるとあごがゴリゴリ音がする
- ⑩歯がない
- ⑪その他()

問5-2 歯や口の中の悩みや気になることに、どう対処されていますか。

- ①現在、歯科診療所にかかっている
- ②近々、歯科診療所にかかろうと思う
- ③もう少し様子を見ようと思う
- ④その他()

問6 ふだん、歯や歯ぐきの健康について注意していますか。

- ①注意している ②注意していない {→問7へ}



問6-1 どのように注意していますか。(複数回答可)

- ①歯科検診を受けるようにしている
- ②歯石をとってもらおうようにしている
- ③食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしている
- ④歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしている
- ⑤甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている
- ⑥バランスのとれた食事をこころがけている
- ⑦よくかんで食べるようにしている
- ⑧歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている
- ⑨その他()

問7 一日に何回、歯を磨きますか。

- ①1回 ②2回 ③3回以上 ④磨かない日がある {→問8へ}



問7-1 一日のうち、一番ていねいに歯をみがく時間は何分ぐらいですか。

- ①30秒ぐらい
- ②1分ぐらい
- ③2分ぐらい
- ④5分ぐらい
- ⑤10分ぐらい
- ⑥15分以上

問7-2 一日に1回以上、フッ素入り歯みがき剤を使っていますか。

- ①使っている ②使っていない

問7-3 一日に1回は、歯間部清掃用器具を使っていますか。

- ①使っている ②使っていない {→問8へ}



問7-4 どんな歯間部清掃用器具を使っていますか。(複数回答可)

- ①デンタルフロス(歯間清掃用の糸)・糸(付き)ようじ
②歯間ブラシ
③歯間刺激子(ラバーチップ・トゥースピック)
④水流式口腔洗浄器

問8 この一年間に、正しい歯ブラシの使い方についての指導(歯みがき指導)を受けましたか。

- ①受けた ②受けていない {→問9へ}



問8-1 どこで歯みがき指導を受けましたか。

- ①歯科診療所や病院の歯科で ②その他

問9 この一年間に、歯科健康診査を受けましたか。

- ①受けた ②受けていない {→問10へ}



問9-1 どこで歯科健康診査を受けましたか。

- ①歯科診療所や病院の歯科で ②その他

問10 この一年間に、歯科診療所や病院の歯科で診療を受けましたか。

- ①受けたことがある ②現在、治療中である ③受けていない

問11 今までに、義歯(入れ歯・ブリッジ)を作ったことがありますか。

- ①作ったことがある ②作製中(通院中) ③作ったことがない



{→問12へ}

{→問12へ}



問11-1 どんな義歯を作りましたか。

- ①取りはずしのできる義歯(入れ歯)
②取りはずしのできる義歯とできない義歯(入れ歯とブリッジの両方)
③取りはずしのできない義歯(ブリッジ)

問12 歯が抜けたままで、入れ歯やブリッジを使っていない部分がありますか。

- ①ある ②ない

問13 歯科医療に対して要望がありますか。

①ある ②ない {→問14へ}



問13-1 どんな要望ですか。(複数回答可)

- ①歯科診療所や病院の歯科が近くにほしい
- ②夜間や休日でも治療が受けられるようにしてほしい
- ③職場での健康診断に歯科も含めてほしい
- ④なるべく待たせないようにしてほしい
- ⑤診療回数を減らしてほしい
- ⑥治療内容や費用等についてわかりやすく説明してほしい
- ⑦保険の範囲をひろげてほしい
- ⑧その他()

問14 ご自身が寝たきり等で在宅で介護を要するようになったときに望むサービスはありますか。

①ある ②ない {→問15へ}



問14-1 どんなサービスですか。(複数回答可)

- ①必要なとき在宅で歯科治療が受けられるようにしてほしい
- ②定期的に在宅で歯科の検診が受けられるようにしてほしい
- ③定期的に在宅で歯科医師等が口の中の手入れや指導をしてほしい
- ④歯科診療所や病院の歯科に容易に受診できるようにスロープの設置や、移送サービスの実施等をしてほしい
- ⑤要介護者の歯の治療や手入れに関する相談窓口を設置してほしい
- ⑥その他()

問15 ^{ハチマル・ニイマル}8020運動という言葉を知ったことがありますか。

①ある ②ない {→問16へ}



問15-1 8020運動という言葉はどこで聞きましたか。(複数回答可)

- ①歯科診療所や病院の歯科で
- ②歯科診療所や病院の歯科以外の医療機関で
- ③保健センターや保健所で
- ④新聞や雑誌で
- ⑤テレビやラジオで
- ⑥その他()

問15-2 8020運動とは「80歳になっても20本以上の自分の歯を保ちましよう」という運動であることをご存知ですか。
①はい ②いいえ

問16 「20本以上の自分の歯があれば、ほとんどの食べ物をおいしく食べられる」ということをご存知ですか。
①はい ②いいえ

健康状態ならびに健康に関わる生活習慣

問17 食事は3食ほぼ決まった時間に食べていますか。
①いる ②いない

問18 夜10時以降に食事をとりますか。
①よく食べる ②時々食べる ③ほとんど食べない

問19 外食(市販のお弁当も含みます)をしますか。
①ほとんど毎日2回以上外食する
②ほとんど毎日1回外食する
③週に4～5回外食する
④週に2～3回外食する
⑤ほとんど外食しない

問20 おいしく食事ができますか。
①はい ②いいえ ③どちらともいえない

問21 栄養のバランスに気をつけていますか。
①気をつけている ②少し気をつけている ③気をつけていない

問22 ふだん塩分のとりすぎに気をつけていますか。
①気をつけている ②気をつけていない

問23 ふだん脂肪のとりすぎに気をつけていますか。
①気をつけている ②気をつけていない

問24 今のご自身の食事についてどのように思いますか。
①とても良い ②ほぼ良い
③あまり良くない ④まったく良くない

問25 運動を週に何日くらい行っていますか。

- ①週に()日 ②週1日未満 ③行っていない

問26 日常生活の中で意識的に体を動かすようにしていますか(問25で答えた運動は除きます)。

- ①いつもしている ②時々している ③していない

☆☆☆ 20歳以上の方だけお答え下さい ☆☆☆

問27 たばこを吸いますか。

- ①以前から(ほとんど)吸わない
②以前は吸っていたが、今は吸わない
③ときどき吸っている(月1本以上)
④毎日、吸っている

問28 この一か月間に自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う機会がありましたか。

- ①あった ②なかった ③覚えていない

☆☆☆ 20歳以上の方だけお答え下さい ☆☆☆

問29 あなたは、週に何日お酒(アルコール)を飲みますか。

- ①週に()日 ②週1日未満 ③ほとんど飲まない

問30 この一か月間に、不満・悩み・苦労などによるストレスがありましたか。

- ①大いにあった ②多少あった
③あまりなかった ④まったくなかった

問31 自分なりのストレス解消法がありますか。

- ①ある ②ない

問32 ここ一か月間の平均的な就寝時刻(眠りにつく時刻)をお答えください。

- ①()時()分頃 ②決まっていない

問33 ここ一か月間の平均的な睡眠時間をお答えください。

- ()時間()分

問34 この一か月間、睡眠によって休養が十分とれましたか。

- ①十分にとれた ②ほぼ十分にとれた
③あまり十分ではなかった ④まったく不足していた

問35 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- ①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない

問36 あなたは、毎年1回以上、定期的に健康診断や人間ドックなどを受けていますか（病気の治療や経過観察のための受診は除きます）。

- ①受けている ②受けていない

問37 これまでに医師から高血圧と言われたことがありますか。

- ①ある ②ない

問38 これまでに医師から糖尿病と言われたことがありますか。

- ①ある ②ない

質問は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

平成15年度歯科保健県民調査票配布先及び回収状況

＜食生活推進協議会＞

No.	団体名	送付数	回収数	回収率
1	東伊豆町健康づくり食生活推進協議会	312	154	49.36
2	南伊豆町健康づくり食生活推進協議会 南伊豆町保健協力委員会	408 420	397	47.95
3	韭山町健康づくり食生活推進協議会	288		
4	大仁町健康づくり食生活推進協議会 大仁町保健委員	360	297	82.50
5	函南町食生活改善推進協議会	408	274	67.16
6	修善寺町健康づくり食生活推進協議会	252	216	85.71
7	伊東市健康づくり食生活推進協議会	492		
8	熱海市健康づくり食生活推進協議会	252	159	63.10
9	沼津市健康づくり推進員	336	228	67.86
10	清水町健康づくり食生活推進協議会	648	463	71.45
11	小山町健康づくり食生活推進協議会	1,524	1,382	90.68
12	裾野市健康づくり食生活推進協議会	360	193	53.61
13	御殿場市健康づくり食生活推進協議会	264	185	70.08
14	富士宮市健康づくり食生活推進協議会	288	243	84.38
15	芝川町健康づくり食生活推進協議会	408	314	76.96
16	富士川町健康づくり食生活推進協議会 富士川町保健委員会、同OB会	360 468	297	35.87
17	蒲原町健康づくり食生活推進協議会	924	146	15.80
18	由比町健康づくり食生活推進協議会	348	290	83.33
19	静岡市食生活改善推進協議会	1,416	1,073	75.78
20	健康づくり食生活推進協議会焼津かもめ会	324		

No.	団体名	送付数	回収数	回収率
21	藤枝市健康づくり食生活推進協議会	864	888	102.78
22	岡部町健康づくり食生活推進協議会	648	313	48.30
23	島田市健康づくり食生活推進協議会	432	323	74.77
24	川根町健康づくり食生活推進協議会	384		
25	御前崎町健康づくり食生活推進協議会	552	404	73.19
26	中川根町健康づくり食生活推進協議会 中川根町保健委員	372	311	83.60
27	金谷町健康づくり食生活推進協議会 金谷町保健委員会	504	396	78.57
28	榛原町健康づくり食生活推進協議会 榛原町保健協力委員	504	263	52.18
29	菊川町健康づくり推進委員会 菊川町健康づくり食生活推進委員会	540		
30	福田町食生活推進協議会 福田町保健委員会	756 516	1,124	90.94
31	森町健康づくり食生活推進協議会	480	331	68.96
32	春野町健康づくり食生活推進協議会	168	131	77.98
33	大東町健康づくり食生活推進協議会	408	91	22.30
34	豊田町健康づくり食生活推進協議会	576	437	75.87
35	天竜市健康づくり食生活推進協議会	588	477	81.12
36	磐田市健康づくり食生活推進協議会	492	400	81.30
37	袋井市健康づくり食生活推進協議会	540	417	77.22
38	竜洋町健康づくり食生活推進協議会	312	154	49.36
39	水窪町健康づくり食生活推進協議会	60	52	86.67
計		20,556	12,823	62.38

＜静岡県保健委員連絡協議会＞

No.	団体名	送付数	回収数	回収率
40	河津町保健委員会	528	488	92.42
41	下田市保健委員協議会	984	318	32.32
42	東伊豆町保健委員会	312	198	63.46
43	松崎町保健委員会	372	295	79.30
44	御殿場市保健委員会	588	490	83.33
45	小山町保健委員協議会	252	245	97.22
46	由比町保健委員会	516	356	68.99
47	御前崎町保健委員会	348	284	81.61
48	小笠町保健委員会	312	172	55.13
49	新居町保健推進委員会	300	278	92.67
	計	4,512	3,124	69.24

50	三島市8020推進員	588	513	87.24
----	------------	-----	-----	-------

51	県栄養士会	1,104	693	62.77
----	-------	-------	-----	-------

団体名	送付数	回収数	回収率
食生活推進協議会	20,556	12,823	62.38
保健委員会	4,512	3,124	69.24
三島市8020推進員	588	513	87.24
静岡県栄養士会	1,104	693	62.77
合計	26,760	17,153	64.10

(H16. 4. 7現在)